

戦略幹部会議	
平成27年5月18日	
担当課	行財政改革課
電話	20-3164(内線2172)

平成27年度の「市長ミッション」の取組みについて

部局や職務職階にとらわれず自由闊達に政策議論を交わし、市長ミッションに呼応した新たな事業の、予算、人員、組織配分を決定していく仕組みとして、昨年、新たに取組んだ「鳥取市行政経営システム」の運用を継続します。この取組みを通じて、物事を俯瞰して考察することのできる職員の育成を進め、鳥取市の明るい未来を切り拓いていきます。

1 今回の市長ミッション

昨年度は、地方創生といった全国的に直面する課題を踏まえ、「平成31年末までに転入超過都市へと移行すべく、組織の壁を超え、異次元の事業を立案せよ」といった、幅広いテーマでのミッションでした。今年は、本市が、近年、重点的に進めている取組みの中から、次の3つのテーマに絞って、事業立案に臨みます。

☆ ファシリティマネジメントの推進

公共施設の更新問題を踏まえ、『リノベーションまちづくりの仕組みを公共施設へ応用しながら、ファシリティマネジメントを一層推進する具体的な公共施設等の有効活用策を立案してほしい』

☆ ふるさと寄附金の促進

第6次行財政改革大綱の総合目標に掲げる、ふるさと寄附金4億円以上の早期実現に向け、『鳥取ならではの付加価値の高いプレゼントの開発を行ってほしい』

☆ シティセールスの推進

鳥取製品の販路拡大、移住定住、観光誘客を図るための拠点施設である「とりのまんま」からさらなる情報発信ができるよう、『鳥取市の新たな魅力となる素材の開拓とその効率的な情報発信方法を立案してほしい』